

平成27年度



赤木っ子だより

平成28年2月24日 No.35 文責 校長 橋本忠秋

《教育目標》

『豊かな心と自ら学ぶ力をそ
なえた、たくましい児童の育成』
あ 明るく元気な子ども
か 考えて行動する子ども
ぎ 気力ある子ども

前回赤木っ子だより第34号でお知らせしました「セーフコミュニティの学校づくり」会議に子ども達から出された内容です。主に、冬特有の危険が多く出されています。あまりこの先に、積雪や凍結は無いかも知れませんが、あったときは普段以上に注意して登下校してほしいです。特に危険があるような時は、一声かけてあげたり融雪剤などが設置してある場合は散布したりするなど、お願いします。

なお、不審者や非行行動をする青少年に出会ったときは、避難してから警察(110番)への通報と学校への連絡をお願いします。

No.	学校以外の危険な場所・内容等	
1	大窪橋：冬は氷で滑って危険。暗くなると柵で車が見えない。信号が見えにくい。避けていても危険。信号の白線を越える。	
2	逢瀬川4方部の坂が凍ると危険。	3 校庭近くの坂が凍ると危険。
4	学校北西側の横断歩道の所。	5 せせらぎ小道が暗くなると怖い。
6	しまむら・リサイクルショップの駐車場が怖い。	
7	うねめ通りの若葉町交差点の横断歩道が凍ると危険。	
8	赤木町ごみ邸：危険物がたくさんある。	9 赤木町：交差点が凍ると滑って危険。
10	赤木町：大きな溝があって転んで危険。	11 屋根のつららが落下すると危険。
12	赤木方面の坂道が凍って滑るので危険。	13 パチンコ屋の北側が滑って危険。
14	たんち屋前、車が止まらないので危険。	15 逢瀬川の土手が危険。
16	通称：キューピー食品前交差点、車が止まらないので危険。	
17	陽が当たらない階段が凍って滑るので危険。	
18	咲田の通学路にある急な階段が危険。	19 逢瀬川の曲がり角、十字路が危険。
20	マンション前のボタン式信号の所が危険。	
21	双葉幼稚園付近の田んぼが危険。(汚れる)	
22	逢瀬川で遊んでいる人がいるので危ない。	
23	大東銀行角が凍って危険。	24 咲田橋歩道橋：冬は氷で滑って危険。
25	逢瀬川にある白い橋が滑って危ない。	26 元乙高保育所の道路が危ない。
27	雨天時の逢瀬川が危険。	28 以前、若葉公園に不審者がいた。
29	せせらぎ小道に変な人が多い。	30 若葉マンション前の道路が危険。
31	学校南側の坂道が危ない。	32 サーパス前の歩道が危ない。
33	咲田のセブンイレブン前の横断歩道が危ない。	
34	トレジャーファクトリー前、車が入り出す所に歩道があり危険。車が突然出てくる。	
35	以前リンゴ公園で中・高校生が「お金持っていない」と言っているのを聞いた人がいた。	
36	セブンイレブンの所の坂道(サーパス前)が凍結したとき危険。	
37	学校北側のうねめ通りの信号機付近、自転車が多く危険。	
38	咲田歩道橋を渡って左に曲がった道路が細くて危険。	

本校の教育目標であります「豊かな心と自ら学ぶ力をそなえた、たくましい児童」に育てるために、私たちは目指す児童像を掲げ、実践内容を明らかにして教育活動に取り組んできました。この1年間、子ども達は「心・知恵・身体」を磨き続けてきました。

1 「明るく元気な子ども」の育成に向けて ～こころをみがく～

- 温かい学級・学年集団づくりに努め、望ましい人間関係をつくります。
- 基本的な生活習慣を育て規律ある学校生活を送らせます。

2 「考えて行動する子ども」の育成に向けて ～ちえをみがく～

- 主体的な学びの重視と「型」を活用した学習により、基礎・基本の定着と教科での活用力をつけます。
- 授業との関連を重視した家庭学習と読書の習慣をつけます。

3 「気力ある子ども」の育成に向けて ～からだをみがく～

- 体育の時間を中心に、健やかな体を育成します。
- 健康のための習慣づくりと事故ゼロに向けた安全指導を進めます。

「学校教育に関するアンケート」集計結果について①

「学校教育に関するアンケート」につきましては、お忙しいところ、多くの保護者の皆様にご協力をいただきありがとうございました。この調査は、今年度の学校教育活動を振り返り、家庭と学校が互いに連携を深め、共通理解のもとでよりよい赤木の教育を目指していくねらいで実施しています。ほぼ全家庭から回答をいただきました。◎集計結果

各欄の数値は、回答者数の割合をパーセントで示したものです。小数点以下の数値は、四捨五入して表記しています。保護者対象結果は、次号にも引き続きお知らせします。

◎学校と子どもにかかわる設問集計結果 A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない

No.	項 目	A	B	C	D
①	学校は、教育目標を保護者にわかりやすく伝えている。	46.2%	44.5%	7.7%	1.6%
②	学校は教育活動について、学校だよりやホームページ等で、情報をわかりやすく提供している。	56.9%	38.2%	4.1%	0.8%
③	子どもは、学校へ行くのを毎日楽しみにしている。	30.2%	60.0%	9.4%	0.4%
④	子どもに、あいさつや言葉遣いなどの基本的な生活習慣が身についている。	65.7%	30.2%	4.1%	0.0%

No.①本校の教育目標と目指す児童像にかかわる説明責任と発信については、90.7%の保護者の方からA・Bのプラス評価をいただきました。同様に、No.②の教育活動全体にかかわる情報発信について、95.1%のプラス評価をいただきました。学校便りの発行回数は前年より多く発信してきましたが、学校教育目標や目指す児童像についてはより分かり易く回を重ねてお知らせしていきたいと思えます。

No.③は学校での学習・生活全般に関わる設問で、A・B評価は90.2%です。ただし、1割弱の子ども達はあまり感じていないという結果ですので、新年度は限りなくゼロに近づけたいと考えています。No.④はA評価が65.7%と高く、ご家庭での協力が大きく反映された結果であります。子ども達にとって、落ち着いた生活や言葉遣いの良さは心を育て、学力の向上に大きく作用するところですので、今後も基本的な生活習慣が乱れないようにしっかり見守り続けてください。